

いぶりの交通安全

胆振の概況 2025

● 悲惨な交通事故を減らすために

一人ひとりが、「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」という意識を強く持ち続けていくことが大切です。事故の無い社会を築いていくため、車を運転するときは速度の出し過ぎによる危険性を認識し、歩行者に対し思いやりのある運転を心がけるよう、交通ルールの遵守や運転マナーの広報・啓発活動に取り組んでいます。

1 交通事故の発生状況

- 令和6年の胆振管内の交通事故発生状況は、発生件数、死者数及び傷者数のいずれも前年を上回りました。なお、死者数は北海道では104人で前年に比べ27人減少し、胆振管内では8人で前年同となっています。

◎交通事故発生状況（胆振管内・北海道）

年	胆振管内			北海道		
	発生件数（件）	死者数（人）	傷者数（人）	発生件数（件）	死者数（人）	傷者数（人）
令和4年	571	7	682	8,457	115	9,785
令和5年	631	8	723	9,082	131	10,601
令和6年	669	8	781	8,743	104	10,297

・交通事故統計分析表

2 交通事故の主な特徴

- 令和6年の胆振管内の交通事故発生における第1当事者は20歳未満、20歳代及び65歳以上で約半数を占めます。なお、死者数及び傷者数は、65歳以上が約3割を占めます。
※ 第1当事者とは、最初に交通事故に関与した車両等の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者等をいいます。
- 事故類型では、車両相互の発生件数及び傷者数が最も多くなっています。

◎第1当事者年齢別事故状況（令和6年・胆振管内）

区分	年齢層	運転者							運転者以外	合計
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳以上		
発生件数（件）	22	121	71	88	110	27	215	654	15	669
構成比（％）	3.3%	18.1%	10.6%	13.2%	16.4%	4.0%	32.1%	97.8%	2.2%	100.0%
死者数（人）	0	3	0	1	2	1	1	8	0	8
構成比（％）	0.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	100.0%	0.0%	100.0%
傷者数（人）	29	145	87	105	123	35	242	766	15	781
構成比（％）	3.7%	18.6%	11.1%	13.4%	15.7%	4.5%	31.0%	98.1%	1.9%	100.0%

・交通事故統計分析表（構成比は、小数点第二位を四捨五入している）

◎事故類型別発生状況（令和6年・胆振管内）

区分	類型	人対車両	自転車対車両	車両相互	車両単独	踏切	合計
発生件数（件）		81	103	465	20	0	669
死者数（人）		3	2	2	1	0	8
傷者数（人）		80	103	573	25	0	781

・交通事故統計分析表

◎交通事故発生状況（令和6年・胆振管内市町別）

市町区分	室蘭市	苫小牧市	登別市	伊達市	豊浦町	壮瞥町	白老町	厚真町	洞爺湖町	安平町	むかわ町	合計
発生件数（件）	105	409	53	39	2	3	25	7	12	8	6	669
死者数（人）	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	8
傷者数（人）	119	463	60	45	5	5	36	10	17	8	13	781

・交通事故統計分析表